

サンライズ



旭川市立朝日小学校 研修部便り No.1
発行:平成28年5月16日 文責:下元真冬



宮腰先生より

始めにクイズをして、子供にわくわく感をもたせたかった。社会の授業ということもあり、資料はたつぷり用意した。単なる沖縄に関係するものではなく、これからの単元で学ぶべき内容に関わる資料を使った。小グループでの交流が取り入れた方がよかったのかもしれない。

良かった点

- ・始めにたくさんの資料を提示し、活用したのがよかった。
- ・写真や動画をつかったのが魅力的だった。
- ・板書のつながりが良い。
- ・資料との対話
- ・教師が聞いてくれる雰囲気
- ・学習問題のたて方についての学習にもなった。
- ・子供が自然と周りと話せていたことがアクティブだと感じた。



感想

- ・学習問題をつくるということはすごく難しいと感じた。
- ・『寒いところに住んでいるから、温かいところについて調べよう。』という動機付けが弱く感じた。「温かいところ」という言葉を子供から引き出した方がよかったのではないか。
- ・シーサーなしの瓦だけの方が良かったのかもしれない。
- ・子供の意見を分類する際、子供自身に分類させても良かったのかもしれない。
- ・写真の出る順序が違ったら、また違う流れになっていたのかもしれない。

6月研にむけて～研修部より～

- ・単元を構想する際には、学習内容相互のつながりや流れを大切に。
- ・子供の主体性を生む単元構成、展開、教材・資料の選定を練る。
- ・個で考える時間と集団で考える時間のバランスとタイミングを考える。
- ・朝日小の『対話』の押さえを確認し、何をどのように行えば深い学びへとつながるのか検討する。
(グルーピング≠アクティブ・ラーニング)



校長先生



今回は、単元の1時間目という貴重な時間を公開して頂きましたね。ビデオの威力はすごかったですね。気象条件、社会的事象、地理的条件、土地利用の問題など、児童の思考が広がるように、問題を投げかけることが大切です。子供の学びに向かう力を、我々、教師が引き出していきましょう。

6月研(6/28)は、谷口先生と小倉先生の授業です。よい授業を目指してみんなで作っていきましょう!

